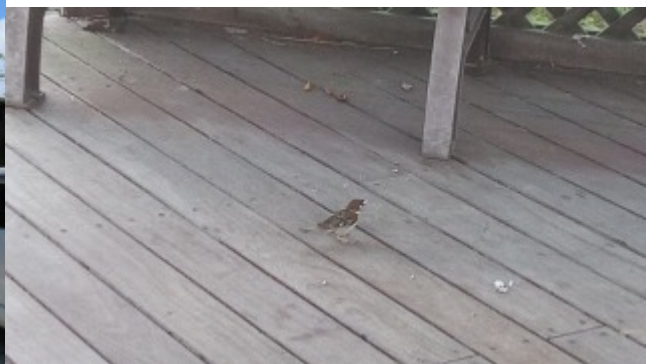


長泉麗峰山の会・山行報告書	文・写真 後藤
山行番. NO. 2029	
日 時 2023年08月05日(土) 無風・快晴・上部涼しい	
山 域 後立山・唐松岳(2696m)	
コース 神城・水車小屋 4:30-黒菱駐車場-リフト-黒菱平 5:15-八方池ヒュッテ 5:42-第3ケルン・八方池 6:54-丸山 8:10-唐松山荘-唐松岳 9:30~50-唐松山荘(トイレ)-黒菱平 13:28-リフト-黒菱駐車場 13:43-倉下の湯-買い出し-水車小屋(泊)	
標高差 上り 黒菱平約1680m~唐松岳2696m=約1016m+90m	
難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい	
花も凄い、人も凄い山	
参加者 後藤、加藤、合谷、星=4名	

四人は酷暑の静岡から脱出すべく白馬に向かった。白馬は、涼しいというのが本当だろうか??八ヶ岳SA外のベンチで昼食。小さな雀が寄って来た。慣れている。お結びの米を蒔いたら行ったり来たり、何回も突いていた。可愛い。



水車小屋



可愛い雀ちゃん (K撮影)

早朝、八方尾根・黒菱駐車場に向かう。別荘地を抜け標高差約800mの林道を上る。昨日、係りの方が、早朝でも「牛がいるので注意して下さい」といった。(笑い) 夏は、林道周辺は放牧地だった。駐車場は標高約1500m。駐車台数は約200台。我々は、最後の20台だった。下手をすると「駐車難民」になる。

林道を車で上るのは初めて。2016年5月下山時、悪天候でゴンドラが動かず、会社のジムニーで送って貰ったことがある。2日間、「ホワイト・アウト」で登頂すら出来なかった。

その時、下山も全くルートが分からず、一緒に下った他パーティーのGPSを頼りにした。それでも、「リング・ワンデリング」にハマる始末。

「ホワイト・アウト」の難しさを痛感した。富士山でも、二回苦勞したことがあるが、



八方池山荘下

人間の能力は限界がある。その後、「ガーミン」を購入した。

駐車場から黒菱平までリフトで上り歩きだす。天気は良かった。花々が朝露に光っていた。登山者は多い。後から後から、ゾロゾロやってくる。

前を若い衆が数人歩いていた。聞けば「信大ワンダー・フォーゲル部」で、今日は「歩荷訓練」といった。以前、冬の仙丈ヶ岳・地藏尾根で会ったといたら、それは山岳部でワンダーは、冬はやらないといった。彼らとは、山頂下でも再会した。

花の種類は多かった。7月中旬は、もっと多いという。全山で何種類あるだろうか。風下で積雪が多いからだろうか。特に尾根の南斜面の積雪で削られた斜面は、キレイなお花畑が広がっていた。

八方池は見事な池だった。夏来ることが殆どないので、新鮮な景色だった。皆さん、思



タテヤマウツボクサ



シモツケソウ



八方池

い思いの格好で休んでいた。観光登山は、ここまでが多い。

タテヤマウツボクサは、極端に色が濃い。シモツケソウは全山に多い。丸山下は、南斜面の灌木帯を辿っていた。南斜面は一面のミヤマキンポウゲが見事だった。一か所、大きな雪渓が残っていた。多くの方が、そこで涼を取っていた。

丸山で休憩。岩に帽子を置いて休んだ。ところが、後で帽子を忘れたことに気が付いた。下山時にあるかどうか微妙だった。

やがて上部の岩稜に達した。ここも夏は南面を巻いていた。チシマキキョウを見て、乗っ越せば唐松山荘だった。唐松岳は数々の思い出があった。調べてみたら、随分上っていた。

- 1993年12月 <http://susono-reihou.babyblue.jp/752>
<http://susono-reihou.babyblue.jp/753>
- 2001年12月 <http://susono-reihou.babyblue.jp/kiroku-7-45.html>
- 2004年冬 <http://susono-reihou.babyblue.jp/000-6.pdf>
- 2015年3月 <http://susono-reihou.babyblue.jp/506.pdf>
- 2015年春 <http://susono-reihou.babyblue.jp/510.pdf>
- 2016年春 <http://susono-reihou.babyblue.jp/630.pdf>
- 2020年冬 <http://susono-reihou.babyblue.jp/000-40.pdf>



唐松岳山頂



劔岳遠望



コマクサ

2020年12月、超烈風の中、山頂下36mで断念した。唐松岳の冬は、日本海から直接風が当たる「風の山」だ。

山頂に立った。風もなく快晴の山。20名程休んでいた。南の遠くに槍が見えた。西には劔岳があった。山頂に座り簡単な食事。ただ、胃が「いかまって」食欲はなかった。暑さで胃が参った。Kに頂いた「黒酢とお茶」に救われた。

ところが、Kは「お腹が減った」といって、「ナットウをパクパク完食」した。えええ～、



唐松山荘



下山

この状況でナットウ??信じられない。(とても「ナットウ〜く」出来なかった。笑い)
記念写真を撮ってもらい下山。唐松山荘でトイレ。300-だった。やっぱり、下山は
楽だった。

しかし、依然として下から登山者が多い。Kが日傘を差していたら、パトロールのジイ
さんに畳むよう注意された。「理由」はいわなかった。しかし、この場合、一方的でなく



下りリフト

リフトでソフト

教育的配慮で（特に子供など）、しっかり「理由」を告げるべきである。

丸山で忘れた帽子は、「岩の上で待っていてくれ」無事回収。大池は、何とかツアーの観光客、中国系の方が多かった。中国系は、着ているもので分かる。

八方池山荘から下りリフト利用で帰着。ジジ・ババの夏休み NO. 1 は終わった。

追記

1. 神城の宿は、クーラーが無かった。「夜、大丈夫かと」思ったが、しかし、夜は寒い位で、杞憂だった。女子は掛蒲団を出したそう。涼しさが羨ましいね。
2. 駐車料＝無料。リフト代＝黒菱平往復 1000ー、八方池山荘～黒菱平（下り片道）＝500ー
3. 大池上で唐松山荘にボラで水7L上げるオバさまと交流。義務ではないが、奇特な方です。
4. G Yはビア1本上げたが山頂で飲まなかった。大池上で休憩時飲んだ。半分だが少し酔った。
5. 傘の件は、多分、狭い道ですれ違う時、危ないからだろうか？ほかに考えられない。



見たかったヤナギラン



カライトソウ



ホソバツメクサ